

農林水産大臣賞（被害防止部門（個人））

防護柵の設置、被害対策道具の自作、住民への普及啓発等により地域の被害を軽減させたほか、近隣の集落や市に対しても指導的役割を果たすなど、長年にわたり県内の獣害対策のリーダーとして地域に貢献。

主な取組

きたむら とみお
北村 富生

ながはまし
滋賀県長浜市

- 鳥羽上北集落では、平成17年頃からニホンザル、次いでイノシシ、さらにニホンジカによる農作物被害が発生。平成22年には被害金額が約250万円と最大に。
- 平成21年に、北村氏を中心に、獣害対策研修会や集落環境点検を実施し、点検マップの作成や被害防止プランを策定。
- 平成23年、「防護柵設置委員長」としてワイヤーメッシュ柵を1,680m整備。29年度までに合計3,320mを整備。
- 柵の効果を高めるため集落周辺の雑木、竹林など1haを伐採するなど大規模緩衝帯を整備。
- 「獣害防護柵設置ニュース」発行による住民への普及啓発、害獣出没時に町内放送による注意喚起の仕組みの体系化、ワイヤーメッシュ柵の忍び返し作成のための道具やサルを追い払うための短筒タイプの「サル鉄砲」の自作等地域に貢献。
- 近隣集落の防護柵・緩衝帯の普及にも貢献するほか、横山獣害マップを作成し、隣接市も含めた対策を実施。
- さらに、滋賀県獣害対策アドバイザーや長浜市農業委員会獣害特別対策部会長を務めるなど、長年にわたって被害防止や人材育成にも貢献。

【長浜市鳥羽上北集落の被害状況】

被害金額 平成22年度：約250万円 → 令和元年度：約3万円

被害面積 平成22年度：約190a → 令和元年度：約7a